受講者氏名		受講者番号	

e-Learning 現任研修 振り返りシート

科目名	【講義１】（テキストページ２６～７２頁） 障害者総合支援法及び児童福祉法等の現状	視聴 終了日	年　月　日

本シートは、現任研修で習得すべきことがらについて、研修の受講前後の自らの理解度を可視的に捉えるものです。視聴後は期限までに必要事項を記入し、事務局へ提出してください。

［事前評価］① 本研修で自らが特に重点的に学ぶべき点を意識して研修に臨む。

［事後評価］① 受講後の学習効果を確認する（身についた、理解した自己評価と相違があった等）。

② 今後の実践や演習など、学びに向けた指針を確認する。

○ 以下の獲得目標毎の自己評価を 10 段階で評定し、記入する。

獲得目標	自己評価		気づきや理解した点等 ※必ず記入
	受講前	受講後	
① 障害福祉制度の経緯について振り返り、最新の法律改正の概要について理解する。			
② 最新の障害福祉サービス等報酬改定の内容について理解する。			
③ 障害福祉計画及び障害児福祉計画の経緯と動向について理解する。			
④地域共生社会の実現に向けた重層的支援体制について理解する。			
⑤ 障害者支援における権利擁護と虐待防止に関わる法律等の内容を振り返り、理解を深める。			
⑥ その他関連制度の状況について理解する。 ・介護保険制度との関係性 ・生活困窮者自立支援制度			

10　9　8　7　6　5　4　3　2　1

←理解度が高い　　理解度が低い　→

科目名	【講義２－１】（テキストページ７４～108 頁） 本人を中心とした支援におけるケアマネジメント及びコミュニティソーシャルワークの理論と方法 第１節　意思決定支援に着目した個別相談支援	視聴終了日	年　　月　日

本シートは、現任研修で習得すべきことがらについて、研修の受講前後の自らの理解度を可視的に捉えるものです。視聴後は期限までに必要事項を記入し、事務局へ提出してください。

［事前評価］① 本研修で自らが特に重点的に学ぶべき点を意識して研修に臨む。

［事後評価］① 受講後の学習効果を確認する（身についた、理解した自己評価と相違があった等）。

② 今後の実践や演習など、学びに向けた指針を確認する。

○ 以下の獲得目標毎の自己評価を 10 段階で評定し、記入する。

獲得目標	自己評価		気づきや理解した点等 ※必ず記入
	受講前	受講後	
相談支援の実務において、相談支援の基本姿勢等を常に意識した実践ができる。			
相談支援において、信頼関係の構築及び自己肯定感・エンパワメントを高めていく支援の必要性を理解し、実践することができる。			
相談支援のプロセスにおける、インテークやアセスメント、モニタリング等の役割や機能、留意点を理解し、実践することができる。			
相談支援における、意思決定支援のポイントを理解し、実践できる。			

10　9　8　7　6　5　4　3　2　1

←理解度が高い　　理解度が低い　→

科目名	【講義２－２】（テキストページ　109～135 頁） 本人を中心とした支援におけるケアマネジメント及びコミュニティソーシャルワークの理論と方法 第２節　多職種連携及びチームアプローチ	視聴終了日	年　　月　　日

本シートは、現任研修で習得すべきことがらについて、研修の受講前後の自らの理解度を可視的に捉えるものです。視聴後は期限までに必要事項を記入し、事務局へ提出してください。

［事前評価］① 本研修で自らが特に重点的に学ぶべき点を意識して研修に臨む。

［事後評価］① 受講後の学習効果を確認する（身についた、理解した自己評価と相違があった等）。

② 今後の実践や演習など、学びに向けた指針を確認する。

○ 以下の獲得目標毎の自己評価を 10 段階で評定し、記入する。

獲得目標	自己評価		気づきや理解した点等 ※必ず記入
	受講前	受講後	
多職種連携・チームアプローチの意義や目的・方法を理解し、他のひとに伝えることができる。			
ケアマネジメントプロセスの各場面における多職種連携・チームアプローチを理解し、実践することができる。			
事業所・組織・多機関・地域それぞれに応じた多職種連携・チームアプローチを理解し関係作りをするとともに、本人の意思を尊重したチームによる意思決定支援ができる。			
各種会議等において、相談支援専門員の役割と業務を理解し、会議の技術を用いた運営・実践をすることができる。			
多職種連携・チームアプローチの阻害要因を考え、連携先の立場に立った視点、配慮、解決に向けたアイデアをみつけ、実践に活かすことができる。			
多職種連携・チームアプローチの重要性を理解し、常日頃の実践から、本人の最善の支援が実践できるように取り組む姿勢を持っている。			

10　9　8　7　6　5　4　3　2　1

←理解度が高い　　理解度が低い　→

科目名	【講義２－３】（テキストページ　136～151 頁） 本人を中心とした支援におけるケアマネジメント及びコミュニティソーシャルワークの理論と方法 第３節　地域を基盤としたソーシャルワーク	視聴終了日	年　　月　　日

本シートは、現任研修で習得すべきことがらについて、研修の受講前後の自らの理解度を可視的に捉えるものです。視聴後は期限までに必要事項を記入し、事務局へ提出してください。

［事前評価］① 本研修で自らが特に重点的に学ぶべき点を意識して研修に臨む。

［事後評価］① 受講後の学習効果を確認する（身についた、理解した自己評価と相違があった等）。

② 今後の実践や演習など、学びに向けた指針を確認する。

○ 以下の獲得目標毎の**自己評価を 10 段階で評定し、記入**する。

獲得目標	自己評価		気づきや理解した点等 ※必ず記入
	受講前	受講後	
地域を基盤としたソーシャルワークの意義と機能を理解し、説明できる			
個別支援から地域課題の抽出、地域支援の展開について理解し、実践することができる。			
地域課題への取り組みに向けた（自立支援）協議会の活用について理解し、実践することができる。			
地域アセスメントの目的や視点・方法を理解し、実践することができる。			
地域資源の柔軟な活用、資源ネットワークの必要性について理解し、実践できる。			

10　9　8　7　6　5　4　3　2　1

←理解度が高い　　理解度が低い→

科目名	【講義３】（テキストページ　154～166 頁　） 実践研究及びスーパービジョンによる人材育成の理論と方法	視聴終了日	年　　月　　日

本シートは、現任研修で習得すべきことがらについて、研修の受講前後の自らの理解度を可視的に捉えるものです。視聴後は期限までに必要事項を記入し、事務局へ提出してください。

［事前評価］① 本研修で自らが特に重点的に学ぶべき点を意識して研修に臨む。

［事後評価］① 受講後の学習効果を確認する（身についた、理解した自己評価と相違があった等）。

② 今後の実践や演習など、学びに向けた指針を確認する。

○ 以下の獲得目標毎の自己評価を 10 段階で評定し、記入する。

獲得目標	自己評価		気づきや理解した点等 ※必ず記入
	受講前	受講後	
スーパービジョンの定義や機能、特長について説明することができる			
相談支援専門員のスーパービジョンの必要性を説明することができる			
事例検討やグループスーパービジョンの必要性を説明することができる			
スーパービジョンの具体的な方法を理解し、実践の中で取り入れることができる			

10　9　8　7　6　5　4　3　2　1

←理解度が高い　　理解度が低い　→